

令和4年度の自己評価は、成果指標の区切りを令和3年度よりも高く設定するとともに、各項目区切りの数値を統一しています。

○本校の概要

1 令和4年度は、児童557人、正規の教職員25人で、大田区立学校として求められる教育活動を推進します。2 「温故知新」は、初代校長 宮田 高男先生の言葉です。前に学んだことや昔のことを調べ考え、新たな知見を見だし、自分のものとする。これは、まさに学校教育の学びそのものであります。教科書を使って、自ら新しいことを学び考え行動し、創造力や個性を伸ばし、人間性を豊かにしていくことと同意であると考えます。

○自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価, 人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学力の向上', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感...', 'スポーツに親しむ心の育成...', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を...', '学校・家庭・地域が担う役割...'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。